

(第1号議案)

平成25年度事業報告

1. 総括

平成25年度は事務所移転後最初の年度であり、また新規事業「放課後こどもくらぶ」を開設するなど陽だまりにとって節目となる一年でした。マスコミを始め一般の人の目に触れる機会が増えたため、ミッションや活動内容を分かり易く伝えるためのロゴマーク作成とホームページリニューアルにも取り組みました。さらに、平成26年度から「有料在宅福祉サービス」と「移動サービス（福祉有償運送）」を統一して「陽だまりクラブ」と呼称することにしました。このように組織運営の充実と改善をはかった結果、一定の成果が得られた年と言えます。

一方で、介護保険改正の度に介護報酬が減額となるため、介護保険事業の収益を他の非営利事業に当てて運営するというこれまでの運営方法に限界が生じてきました。平成27年の法改正ではさらに厳しくなることが予想され、「陽だまりクラブ」を始めとした非営利事業をどのように継続していくかが課題となってきます。さらに、「放課後こどもくらぶ」の利用が伸び悩んでいるため、早急な改善が必要となっています。そこで、上記の課題を踏まえて平成26年度の方針を次のとおりとします。

(1) 法改正への対応

平成27年度の「子ども・子育て支援法」施行と「介護保険法」改正を控え、平成26年度は東広島市が各事業計画を策定する年となります。そこで、利用者が低負担で質の高いサービスを受けられるように、「陽だまりクラブ」と「放課後こどもくらぶ」を制度上のサービスに位置付けることを目指して、行政とコミュニケーションを図っていきます。

(2) 財務の改善

陽だまりの非営利事業を地域全体で支える仕組みとするために、広く市民や企業・団体に呼びかけて寄付収入を増やしていきます。

(3) 事務局の強化

スタッフの配置転換と補助スタッフの増員（活動者2名）により、業務の効率化を図ります。

2. 部門別報告

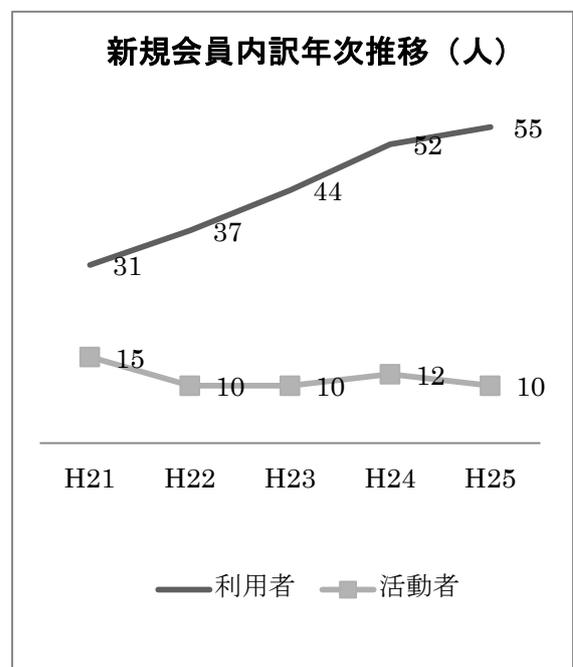
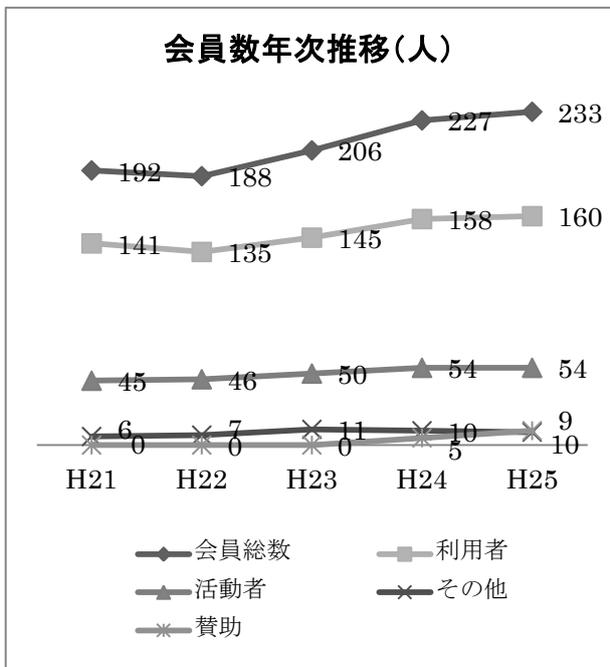
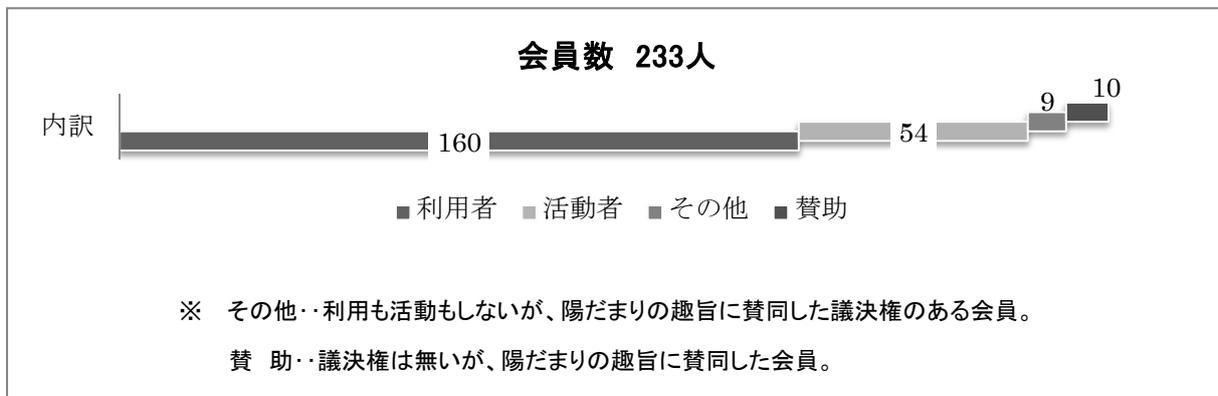
2-1. 陽だまりクラブ（非営利事業）

(1) 目的

陽だまりクラブは会員制のたすけあい活動です。地域の人々がお互いに助け合うことを趣旨とし、家事や介護といった身の回りのことをはじめ、生活での困りごとをお手伝いします。

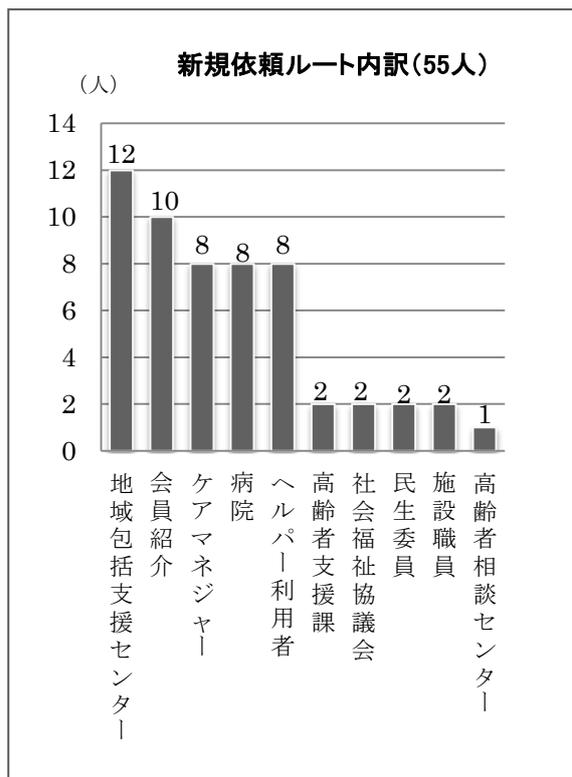
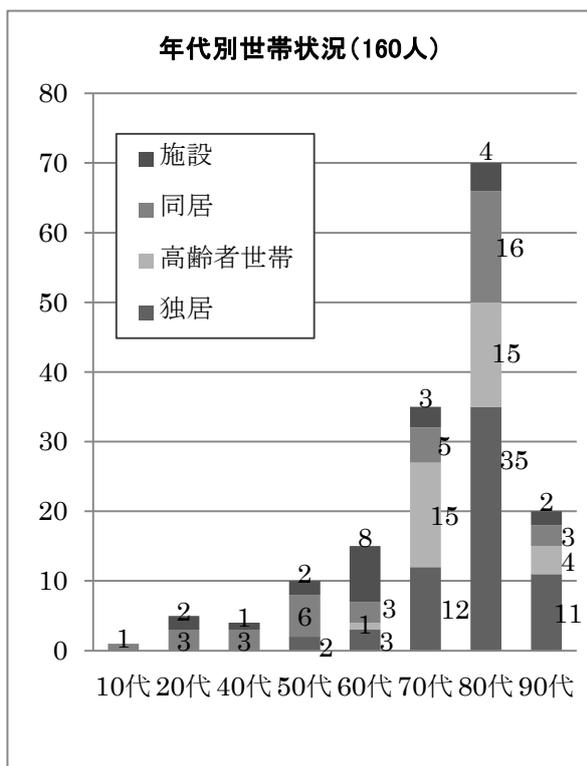
(2) 会員について

(2)-1 会員数



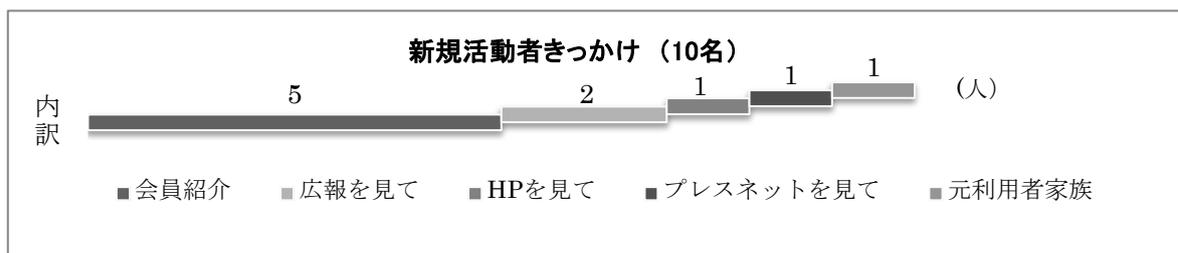
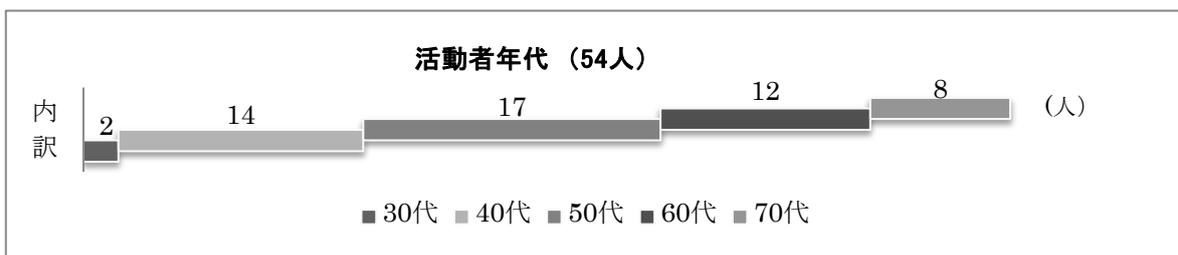
- 会員数は年々増加しており、新規会員のうち利用者は 2 倍近く増えていますが、活動者はほぼ横ばいです。

(2) -2 利用者



- 利用者の年齢構成では80代が44%と最も多く、70代以上が全体の約8割を占めています。また、世帯状況では70代以上の独居が利用者全体の約4割と半数近くになっています。
- 新規利用者の依頼ルートでは、地域包括支援センター、高齢者支援課、高齢者相談センター等公的な相談窓口が約3割、ケアマネジャー、社会福祉協議会、病院ソーシャルワーカーなどの専門機関も3割強を占めており、合わせて約6割となっています。

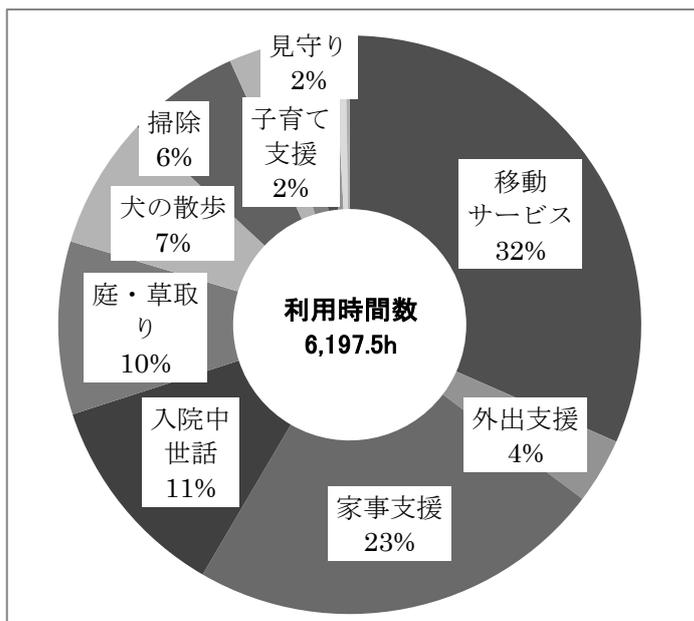
(2) -3 活動者



- 活動者54人の内男性会員は7人で、活動内容のほとんどが移動サービスのドライバーです。
- 女性会員は家事・掃除・育児や入院中のお世話など、特別な資格は無くてもこれまで主婦として培ってきた経験をもとに活動できる内容が多くなっています。

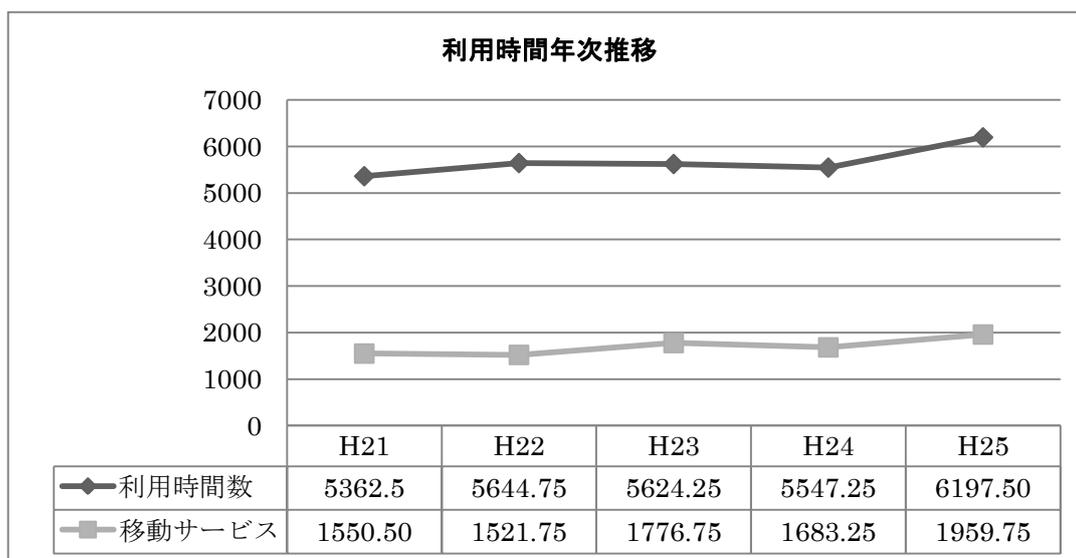
(3) 実績報告

(3) -1 利用時間数と内訳



内訳	(時間数)
移動サービス	1,959.75
外出支援	226.75
家事支援	1,434.00
入院中世話	717.00
庭・草取り	599.25
犬の散歩	455.00
掃除	388.75
子育て支援	119.50
見守り	117.50
話し相手	82.00
用事代行	45.75
雑用	38.00
身体介護	14.25

※ 移動サービス・陽だまりに登録している車を使った外出



- 家事支援や掃除が約 3 割を占めており、大半は介護認定を受けていても介護保険の要件に当てはまらない部分での柔軟な対応が求められています。
- 外出に関わるサービスが約 4 割を占めており、生活の中に「移動」は重要な役割を果たしていることが伺えます。
- 産前産後の支援で「県内には頼れる身内がない」と相談があり、出産や子育ての不安解消を図る仕組みが今以上に必要と思われます。

(3) -2 東広島市福祉有償運送等運営協議会

運営協議会には、塩谷理事が委員の一人として参加しています。平成 25 年度の成果として、ローカルルールが撤廃され、福祉車両を所有していなくても実施団体になれることの承認、運転手の年齢が 70 歳以上でも条件付きで認めることの承認が得られました。

	開催日	内 容	場 所	報 告 者
1	11/29	平成 24 年度報告	東広島市役所	市川・石井
2	1/22	承認基準の見直しについて	東広島市役所	市川・石井

(4) 研修報告

運転者の育成を目的とした「福祉有償運送運転者講習会」と、陽だまりの運転活動者を対象とした「安全運転講習会」を開催しました。

	開催日	受講生	内 容	講 師
1	4/14 4/20	外部受講者 11 名 府中町 2 名 尾道市 6 名 呉市 1 名 東広島市 2 名 陽だまり活動者 4 名	「福祉有償運送運転者講習会」 ・認定講習 ・セダン講習	・中島恵氏 (理学療法士) ・廣川時彦氏 (自動車事故対策機構)
2	3/2 (補講 3/13)	陽だまり運転活動 20 名 (他補講 3 名)	「安全運転講習会」 ・安全運転に関する講義 ・実車研修	・西田忠彦氏 (東広島警察署交通課) ・陽だまりスタッフ

(5) 社外活動

(5) -1 広島県移動サービスネットワーク（平成23年12月発足）

塩谷理事が会長を、陽だまりが事務局を担当し、生活交通や移動問題に関心のある個人・団体に呼び掛けて勉強会を行いました。

	開催日	内 容	参加人数	参加者
1	6/12	①広島運輸支局より 「生活交通を支援する制度について」 ②東広島市議会議員より 「大野城市視察報告」 ③NPO 法人移動ネット岡山より 「登録を要しない移動サービス」	27名 (14団体)	塩谷 市川 佐々木 石井
2	12/5	①広島県移動サービスネットワークより 「福祉有償運送の事務・権限移譲について」 ②NPO 法人全国移動サービスネットワークより 「道路運送法の登録不要の活動～かめかめ福祉移動の実証運行より～」	24名 (14団体)	塩谷 市川 佐々木 石井

(5) -2 NPO法人全国移動サービスネットワーク

塩谷理事が理事に就任し、下記の研修に参加しました。

	開催日	内 容	場 所	参加者
1	6/15	・全国移動ネット総会 ・シンポジウム(地域包括ケアにみる外出支援のカタチ)	東京都	塩谷
2	11/10	「自家用有償旅客運送の事務・権限移譲」に関する学習会	東京都	塩谷

(5) -3 中国地区移動支援ネットワーク交流会

下記の研修に参加しました。

開催日	内 容	場 所	参加者
11/24	①中国運輸局 山口運輸支局より 「山口県の福祉交通の現状と課題」 ②全国移動サービスネットワークより 「移動制約のない社会をめざして～福祉有償運送の課題と今後～」 ③活動報告「山口県の移動サービスの現状と課題」 ・阿武町役場（市町村有償運送） ・特定非営利活動法人豆たん（福祉有償運送）	山口県 湯田	塩谷 石井

(6) 課題と方針

- 平成 25 年度の事業収益は 6,345,321 円で、前年比 110%でした。
- 今後も制度を補う仕組みとして、陽だまりクラブを充実・発展させます。そのために、平成 26 年度からは専用コーディネーターを配置し、迅速で柔軟な対応を目指します。
- 家事支援のできる活動者、登録車両による長時間・遠方への外出支援のできる活動者が不足しており、ニーズに十分応えられない状況になっています。平成 26 年度は生涯学習フェスティバルに出展するなど広報活動を充実させ、プラチナ世代（55 歳以上）を中心に、担い手となる活動者の獲得と育成を目指します。
- 平成 25 年度は県内でデイサービスなど福祉に関わる送迎事故が 3 件発生したことを重く受け止め、東広島警察署の協力を仰ぎながら、引き続き安全運転講習会の開催等で事故防止に努めていきます。
- NPO 法人全国移動サービスネットワークや中国地区移動サービスネットワークへ参加し、ネットワークづくりや情報収集に務めます。また、広島県移動サービスネットワークの事務局として学習会の企画運営を行います。
- 東広島市の交通施策把握のために、東広島市地域公共交通会議を傍聴します。

2-2. 子どもの居場所づくり（非営利事業）

(1) 目的

西条地区では急激な都市化に伴い小学生が急増していますが、児童館が1館もなく、安心して放課後を過ごす場所が不足しています。そこで、次の三点を目的に長期休暇中の小学生の居場所づくりを行います。

- ① 様々な体験をとおして小学生が豊かな長期休みを過ごせる。
- ② 保護者が安心して働ける環境、育児疲れの保護者が休める環境をつくる。
- ③ 地域でのボランティアやネットワークづくりを活発にする。

(2) 実績報告

(2)-1 実施内容一覧

	開催日	内 容	会 場	企画・協力	参加人数
1	8/1	陶芸	中国新聞蓮池新聞舗	ねるこ工房	30人
2	8/5	クッキング（サンドイッチ）	下見福祉会館	陽だまり	26人
3	8/6	み～んなで外あそび	中国新聞蓮池新聞舗	広島大学V-pro	25人
4	8/7	おやつをつくろう	下見福祉会館	広島大学V-pro	29人
5	8/8	みんなで室内あそび	中国新聞蓮池新聞舗	広島大学V-pro	15人
6	8/20	Let' s スライムづくり	下見福祉会館	広島国際大学 真砂ゼミ	26人
7	8/22	楽器を作って演奏しよう	中国新聞蓮池新聞舗	広島国際大学 真砂ゼミ	24人
8	8/27	おにいさんおねえさんとあそぼう！	下見福祉会館	安芸の子 KAPPA 組	29人
9	12/24	羊毛マスコットづくり	陽だまり	おやイスト 伊藤智子氏	12人
10	3/27	フラッグピンと万華鏡をつくろう	下見福祉会館	広島国際大学 真砂ゼミ	30人
11	3/28	おにいさんおねえさんと楽しくあそぼう	下見福祉会館	安芸の子 KAPPA 組	27人
				合 計	273人

※ 参加時間・9：30～15：30（午前は宿題、午後は体験活動）

※ 参加費・1,000円～1,500円/回

※ 8/1～8/27は広島県こども夢基金助成事業

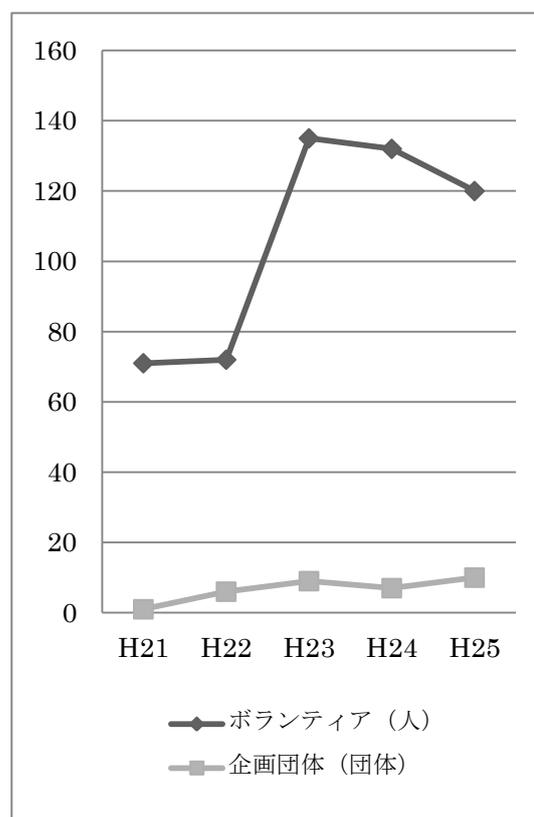
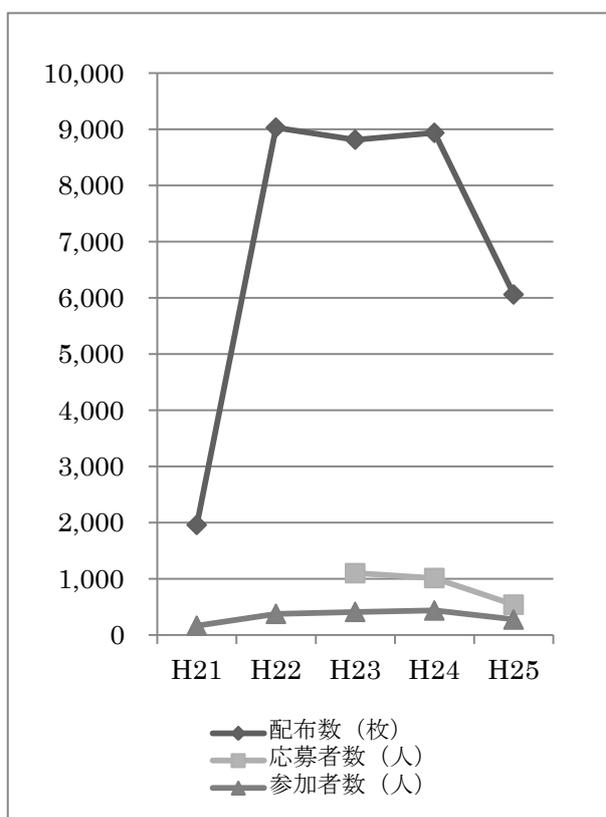
※ 12/24以外は東広島市教育委員会後援事業

(2) -2 応募状況およびボランティア状況

	H21	H22	H23	H24	H25
実施回数(回)	9	14	15	16	11
募集ちらし配布数(枚)	1,960	9,032	8,817	8,939	6,062
応募者数(人)	-	-	1,101	1,015	541
参加者数(人)	167	378	413	438	277
ボランティア数(人)	71	72	135	132	120
企画団体数(団体)	1	6	9	7	10

※ 平成 22～24 は募集ちらしを年 3 回、その他は年 2 回配布。

※ 平成 21～22 年は応募者数の統計なし



- 毎回、募集ちらし配付数の約 1/10 に当たる応募がありました。また、抽選倍率は平均約 2 倍となり、多くの小学生と保護者が長期休みに居場所を求めていることが伺えました。
- 東広島市ボランティア支援センターや東広島市社会福祉協議会、学生団体、近隣の 3 高校へボランティア募集を行った結果、平成 25 年度は広島大学、広島国際大学、修道大学、比治山大学、その他県外大学生、専門学校生、西条農業高校、総合技術高校、一般は市外からの参加がありました。

- 大学生が主体的に企画立案する日を設けることで、大学生に責任感と企画力・リーダーシップを発揮できる場を提供することができました。
- 企画・協力団体も年々増え、平成 25 年度は新たに 5 団体の参加がありました。(オカリナグループあおい風、広島修道大学ジャグリング部 SUJA、広島大学 OPERATION つながり、近畿大学クリーンライフボランティアサークル、リコーダーサークルウインドウェイ)
- イベント終了後の反省会では、ボランティア間で活発な意見交換が行われ、学生同士の貴重な情報交換の場になりました。

(3) 課題と方針

- 夏休みに臨時スタッフ 1 名を確保したことで、急を要することが起きた場合にも適切に対応する態勢をつくることができました。平成 26 年度も引き続き確保します。
- 平成 26 年度はマツダ財団市民活動支援金と広島県こども夢基金の助成を受けて、全 11 回実施します。また、学生の活躍の場としてアピールしていきます。
- スタッフとボランティアで合同の事前打ち合わせ会を行い、事業の目的と当日の進め方など詳細な情報共有を行います。

2-3. 放課後こどもくらぶ（営利事業）

(1) 目的

東広島市の公立学童保育「いきいきこどもクラブ」を利用できない子どもたちを主な対象に、平成 25 年 4 月から新規事業として開始しました。

(2) 実績報告

(人)

	利用者人数											オプション延人数		
	通年	長期 休み	一時 保育	累計	新1 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	送迎	延長	軽食
4月	2	1	5	35	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0
5月	2	0	10(3)	34	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0
6月	2	0	6(3)	30	0	1	0	1	1	0	0	21	1	0
7月	3	0	13(5)	45	0	2	0	2	1	0	0	22	2	2
8月	3	0	9(3)	30	0	2	0	2	1	0	0	7	2	0
9月	3	0	10(4)	47	0	2	1	1	1	0	0	10	2	1
10月	4	0	7(5)	66	0	3	0	2	1	0	0	30	1	0
11月	4	0	5(2)	56	0	3	0	1	1	0	0	21	2	0
12月	4	3	8(4)	70	0	3	3	3	1	0	0	32	6	0
1月	4	3	7(2)	63	0	3	3	2	1	0	0	29	4	0
2月	4	0	6(3)	57	0	3	3	1	1	0	0	27	13	6
3月	4	3	15(5)	63	1	3	3	3	1	0	0	21	5	0
合計	39	10	101(39)	596	1	27	15	20	12	0	0	220	38	9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア延人数	8	5	1	0	1	3	8	7	12	5	1	4	55
相談件数	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	2	9

- 「いきいきこどもクラブ」に入れなかった子どもの保護者からの相談がほとんどでした。通年より、長期休みや一時利用の相談の方が多くありました。
- 日祝日など、「いきいきこどもクラブ」が閉所している日や時間帯などの相談もありました。

(3) 研修報告

(3) -1 指導員研修

	開催日	テーマ	主催	参加者
1	10/6	第 48 回全国学童保育研究集会	全国学童保育連絡協議会	山本（陽） 市川
2	10/18	子どもの救急処置、日常のケガの処置等	スマイルクラブ	山本（陽）
3	10/20	第 17 回広島県指導員学校	広島県指導員学校実行委員会	山本（陽） 市川
4	11/10	実践研究会 IN 広島	一般社団法人 日本学童保育士協会	山本（陽）
5	2/9	第 28 回 広島学童保育研究集会	広島学童保育研究集会実行委員会	山本（陽） 市川
6	2/21	手作り工作「カーリングと風船ホバークラフト」	スマイルクラブ	山本（陽）

(3) -2 その他の研修

	開催日	テーマ	主催	参加者
1	9/12	子どもと未来を大切にできる社会のために私たちができること	NPO法人子育てネットゆめもくば	山本（陽） 市川
2	10/10	子ども子育て支援制度勉強会	NPO法人ひろしまNPOセンター、ゆいぽーと	山本（陽） 市川
3	12/11	地域で創る子育て支援学習会（新制度勉強会）	NPO法人ひろしまNPOセンター、ゆいぽーと	山本（陽）

(4) 社外活動

NPO法人子育てネットゆめもくば、NPO法人ひろしまNPOセンター、広島県、東広島市との協働に参画し、子育て支援を市民が語り合うイベントを企画・実施しました。一連のイベントには延 100 人が参加し、意見を集約した『子育てしやすいまちづくり提言書』を作成、代表者が東広島市に提出するという形で結実しました。

	開催日	テーマ	参加者
1	10/19	まちづくり企画交流塾 「夢をもてる子育て支援を語り合う」	山本（陽）、市川、佐々木
2	10/29	子ども×子育て×夢 Café	山本（陽）、市川、佐々木
3	12/17	子ども×子育て×夢 Café	山本（陽）、市川、佐々木
4	1/21	子ども×子育て×夢 Café	山本（陽）、市川、佐々木
5	2/3	子ども×子育て×夢 Café→NEXT	山本（陽）、市川

(5) 課題と方針

- 平成 25 年度登録目標 10 名は未達成でした。原因は、塾やお稽古と比較すると付加価値が上手く伝えられなかったこと、アピールできる内容が少ないこと、料金が高いこと、平日のプログラムがないことなどが考えられます。今後は、無料 1 日体験や友だちと気軽に誘い合えるようなイベントの開催、形に見えるものを作るプログラムや図書の実、通年利用と一時預かりの区別を明確にします。
- ホームページを毎月更新できず、随時様子を伝えられませんでした。今後は、リニューアルしたホームページで毎月更新に努めます。
- 塾やおけいこ・自宅への送迎、急な延長や台風などの臨時休校時対応、インフルエンザワクチン接種や歯科受診への対応など、働く保護者を支援する様々なサポートが好評でした。また、毎日のおやつ作りや、毎回抽選になる「子どもの居場所づくり」の参加権があることも好評です。今後も、柔軟な対応を継続していきます。
- 多世代の協力者に、月 1 回おやつ作りをお願いしたり、ものづくりのお手伝いやおもちゃ棚を手作りしてもらいました。今後は、ものづくり年間計画を作成し、協力者を増やしていきます。

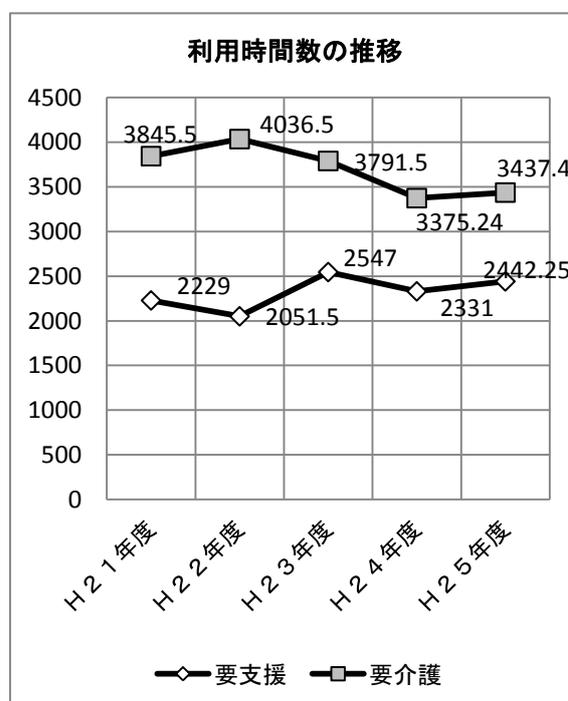
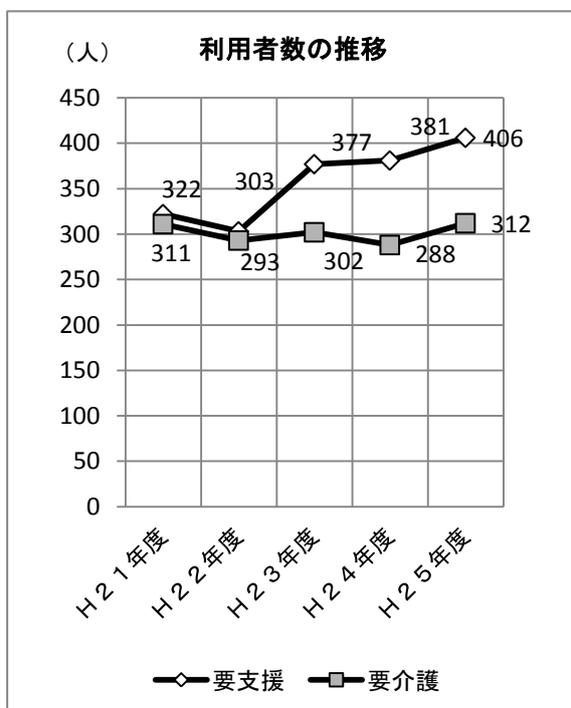
2-4. 訪問介護（営利事業）

(1) 目的

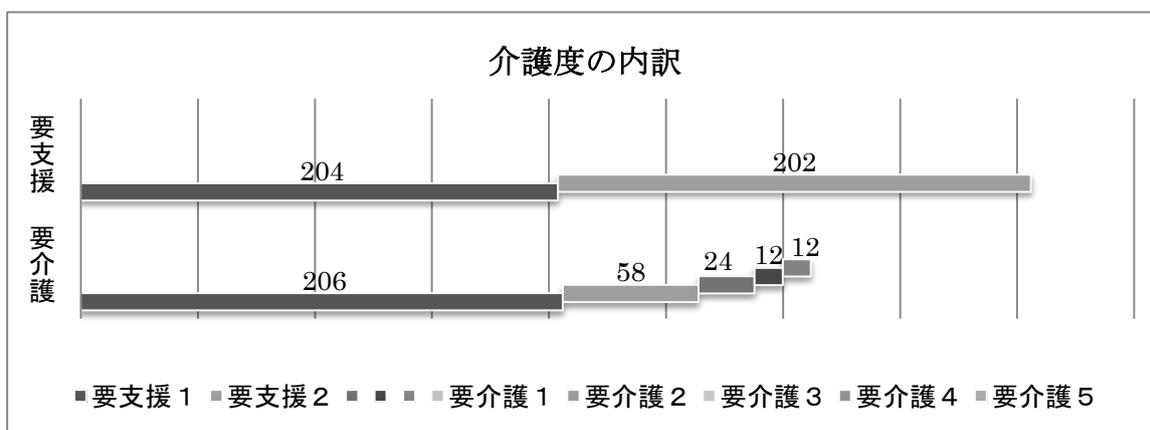
- 法人全体の事業を運営していくための収益事業です。
- 介護を必要とされる方々が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、また、介護をされているご家族の負担を軽減できるよう支援を行います。

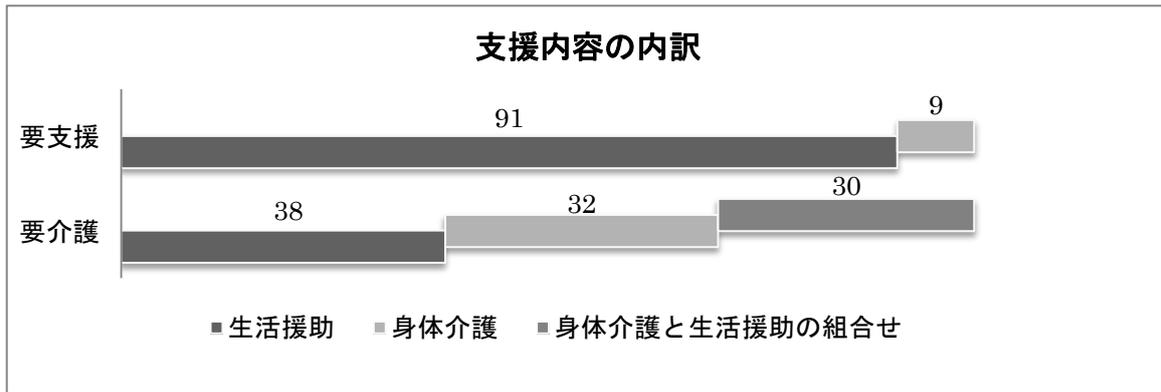
(2) 実績報告

(2) -1. 介護保険



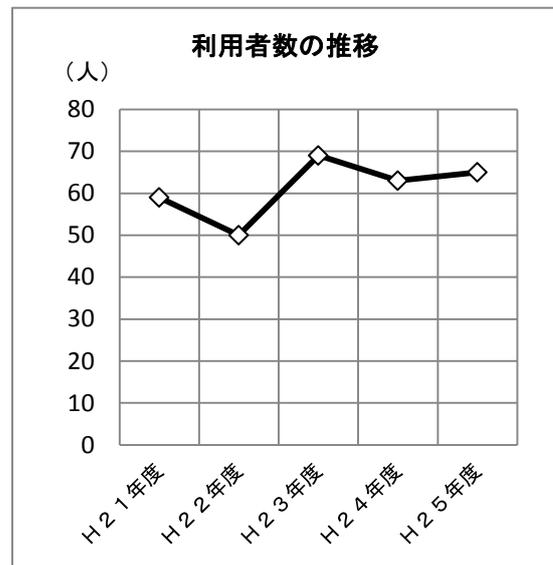
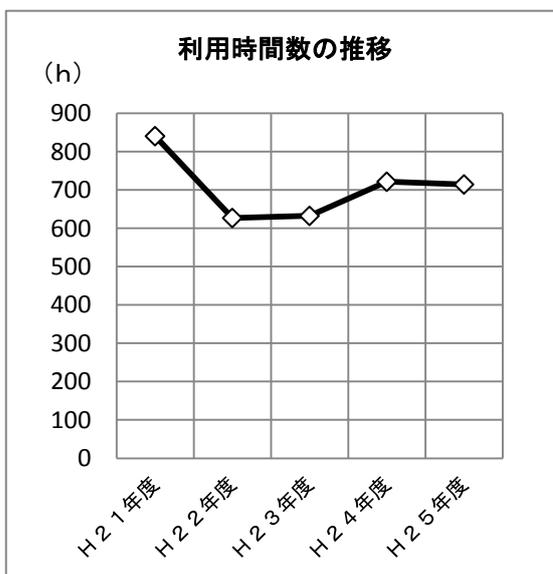
※ 平成24年度・介護保険制度改正





- 管理者 1 名（総務と兼務）、サービス提供責任者 2 名、登録ヘルパー16 名（H26. 3 月現在）の体制で事業を行いました。事業収益は 20,230,514 円で前年比 102%でした。
- 新規利用者数は 29 名で、依頼ルートの内訳は、地域包括支援センター16 名、居宅介護支援事業所 13 名でした。新規契約時より、陽だまりクラブのサービスとの併用依頼が 6 件ありました。
- 契約終了は 13 名で、内訳は、死亡 4 名、入所 4 名、転居 3 名、自立 1 名、事業所変更 1 名でした。
- 利用者数の前年比は、要支援 107%（延べ 406 人/年）、要介護 108%（延べ 312 人/年）で 1 割弱の増加ですが、平成 24 年度に改正された生活援助の時間区分見直しの影響もあり、利用時間数の前年比は、要支援 105%（2,442.25 時間/年）、要介護 102%（3,437.4 時間/年）とほぼ横ばいです。
- 介護度の比率は、平成 24 年度と同様に要支援や軽度の要介護の方が大半を占めています。
- 生活援助が占める割合は、要支援が 9 割、要介護は身体介護との組み合わせが 3 割、生活援助のみが 4 割となっています。

(2) -2. 障害者総合支援



- 事業収益は 3,333,428 円で前年比 99%でした。
- 利用時間数の前年比は 99% (延べ 714.5 時間/年)、利用者数の前年比は 103% (延べ 65 人/年) で、ほぼ平成 24 年度と同様に推移しました。
- 2 ヶ月に一度通院介助で利用する人や不定期利用の人がいるため利用者数が増加していますが、新規契約や契約終了はありません。

(3) 研修報告

(3) -1. 社内研修

	開催日	テーマ	参加人数
1	4/15、18	倫理・理念	17/17
2	5/19	陽だまり総会、茶話会	12/17
3	6/20	個人情報・プライバシー保護、法令遵守	16/17
4	7/17、18	食中毒	19/19
5	8/22	緊急時対応、事故発生再発防止	16/20
6	9/19	接遇	15/21
7	10/29	ヒヤリハット	17/20
8	11/12	今後の体制について	20/20
9	12/19	感染症	16/18
10	1/23	伝達講習「排泄ケア」	15/18
11	2/13	認知症・認知症ケア	15/18
12	3/20	伝達講習 介護技術「入浴について」	14/18
13		新人研修 (5/16、7/10、8/22、9/6)	5

※ 参加人数は、参加人数/総人数

(3) -2. 社外研修

	開催日	テーマ	参加者
1	4/24	介護士スキルアップ研修「根拠に基づいた生活支援」	池田
2	5/22	介護士スキルアップ研修「事例で考えてみよう！出かけるを支える」	松井
3	5/23	認知症勉強会「グループワーク」「食事で病気予防」	山本 (三)、寺内
4	6/13	在宅での薬剤師さんとのかわり	高濱
5	6/26	介護士スキルアップ研修「根拠に基づいた生活支援・食事」	池田、禎田
6	7/24	介護士スキルアップ研修「食べるを支える」	高濱
7	8/18	精神障害に学ぶ集い	佐々木
8	8/28	介護士スキルアップ研修「根拠に基づいた生活支援・排泄」	児玉 (宏)、向井
9	9/14	訪問介護計画作成のポイント	山本 (三)

10	9/17	ヘルパースキルアップ研修会「入浴介助」	田村、佐々木、寺内
11	9/25	介護士スキルアップ研修「事例で考えてみよう！排泄の自立を支える」	児玉（宏）、向井
12	10/23	介護士スキルアップ研修「根拠に基づいた生活支援・入浴」	佐伯、高橋
13	11/16	地域で支える認知症ケア	荒滝
14	11/27	介護士スキルアップ研修「事例で考えてみよう！入浴を支える」	佐伯、高橋
15	12/18	介護士スキルアップ研修「利用者の全体像の把握と生活課題」	高濱、山本（三）
16	12/21	介護士スキルアップ研修「利用者の全体像の把握と生活課題」	寺内
17	1/15	ヘルパースキルアップ研修「排泄ケアについて考える」	田原、三船 山本（三）、寺内 佐々木
18	2/23	市民公開講座 自分の生き方の道しるべ	長廻
19	3/10	「社会保障と税の一体改革」介護はどうかわるか？	佐々木、寺内
20	3/14	「在宅療養を支える多職種交流会～終末期編」	寺内、山本（三）

(4) 社外活動

(4) -1. ヘルパー研究部会

- 東広島市介護保険訪問介護事業者サービス提供責任者の勉強の場として、サービス内容の確認や情報交換を行ってきました。平成 26 年 4 月からの税制改革に伴い、社会保障と税の一体改革「介護はどう変わるか」を勉強し、各事業者が訪問介護の方向性を考えました。

（佐々木、山本（三）、寺内）

(4) -2. 障害者総合支援ヘルパー支援部会

- ヘルパーの資質向上を目的に、年 2 回の研修を実施しました（「入浴介助」、「排泄ケアを考える」）。今年度も引き続きヘルパースキルアップ研修を行う予定です。
- ヘルパー不足の問題を解消するために、ヘルパーの仕事に興味を持ってもらえるよう東広島健康福祉まつりにこれまでの活動を紹介するパネルを作成し展示しました。障害者フォーラムでは、研修風景のビデオ上映とパネル展示を行いました。
- 平成 25 年度は、東広島市で障害者総合支援のサービスを行っている全事業所のヘルパーにアンケートを取り、ヘルパーの待遇や仕事への意識調査を行いました。平成 26 年度は、アンケートの取りまとめを行う予定です。

（佐々木、寺内）

(4) -3. 自立支援協議会プロジェクト会議

- 平成 24 年度は障がいのある子どもたちがプールに入るための体制作りをし、平成 25 年度はプール支援に対応できる事業所の把握を行いました。事業所間で連携したことで、プール支援希望者 45 名全員がプールに入ることができました。支援の内訳は、ヘルパー対応 16 名、ボランティア対応 28 名、自立 1 名（市の判定で支援なし）でした。夏休みが終わると、平成 26 年度に向けて体制の見直しを行い、プロジェクト会議を終了しました。プール支援体制が確立したことで、今後も平成 25 年度と同様の流れで進められていく方針です。
- プロジェクト参加機関は、東広島市（障害福祉課、指導課、保育課、スポーツ振興課）、東広島市社会福祉協議会、はあとふる、NPO 法人まいらいふ、（社福）平成会、NPO 法人陽だまりでした。

（佐々木）

(5) 課題と方針

- 訪問介護では、新たな利用者様に対応するためにヘルパーの新規採用に努め、5 名のヘルパーを増員することができました。しかし、勤務時間や曜日に制限があり、2 名の退職者もあったため、十分な稼働時間の確保ができませんでした。平成 26 年度も引き続きヘルパーの募集を行い、3 名採用を目標とします。また、サービス提供責任者を 1 名増員し、3 名体制にしていきます。
- 平成 27 年度の介護保険制度改正では、予防給付が介護保険制度から外れ、市町村による「生活支援サービス」に移行されます。陽だまりの訪問介護では、予防給付で生活援助を利用されている方が多くおられます。サービスが移行することによって利用者様の生活が滞ることのないよう継続して対応していきます。

2-5. 居宅介護支援（営利事業）

(1) 目的

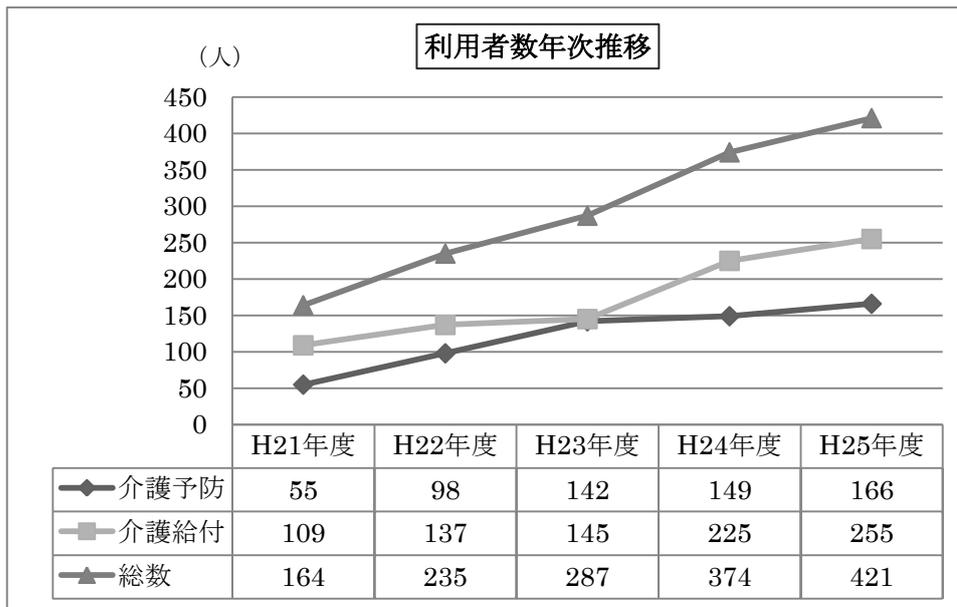
- NPO法人として培った柔軟性・情報力・ネットワークを活かし、ご本人やご家族の希望する生活の実現のために、東広島市内（黒瀬町、安芸津町、河内町、福富町、豊栄町を除く）においてケアマネジメント事業に取り組みます。
- 国・行政の施策や地域の社会資源に関する情報収集を行い、陽だまり会員や利用者などに提供していくと共に、法人として新たなサービス創出やしくみづくりを検討します。

(2) 実績報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	5	6	5	5	5	6	8	8	8	8	8	76
要支援2	7	7	6	7	7	7	8	7	8	9	9	8	90
小計1	11	12	12	12	12	12	14	15	16	17	17	16	166
要介護1	10	12	11	10	10	10	11	11	11	10	9	10	125
要介護2	7	6	5	6	7	7	7	5	5	4	4	4	67
要介護3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	35
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
要介護5	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
小計2	22	23	20	21	22	22	22	22	22	20	19	20	255
合計	33	35	32	33	34	34	36	37	38	37	36	36	421

介護度内訳





- 事業収入は3,346,380円で、前年比100.4%とほぼ横ばいでした。
- 利用者数は昨年度より47人増の112.6%でした。介護度の内訳は、平成24年度と同じく介護60%・予防40%でした。
- 新規契約者は13名（うち要介護者8名）で、依頼のルートは、地域包括支援センターの紹介6名、他事業所からの紹介3名、本人・家族より直接4名でした。
- 契約終了者は11名で、内訳は死亡4名、入院・入所5名、転出1名、回復1名でした。
- 利用者の約半数が、陽だまりの他のサービスを利用しています。地域包括支援センターからは、陽だまりクラブと併用でという依頼が増えています。
- 1回の訪問時間は平均約1時間です。独居の方は軽度でも悩みや不安が多く、訪問時間が長くなる傾向があります。また、ご家族への支援も大切で、目に見える解決（サービス導入など）に至らなくても、相談やお話を聴くことでストレスや不安の解消につながることがあります。
- 要支援の利用者でも原則月1回訪問しています。要支援の利用者の約半数は独居です。

(3) 研修報告

(3) -1. 実務従事者研修

石井	専門研修 I	9/24、10/1、10/15、10/24、10/30、11/18（全6回）
----	--------	--

(3) -2 社外研修

	開催日	テーマ	主催	参加者
1	6/13	在宅での薬剤師さんとの関わり	サンキ・ウェルビィ（株）	石井、岡本
2	6/24	死を見つめる研修会 I	社団法人 東広島地区医師会 （地域連携室あざれあ）	石井、岡本

3	7/10 7/19	緩和ケア介護支援専門員・地域連携職種研修（基礎コース）	広島県/広島県緩和ケア支援センター	岡本
4	7/12	「第1回在宅療養を支える多職種交流会～退院支援編～」	社団法人 東広島地区医師会 （地域連携室あざれあ）	市川、石井 岡本
5	7/26	平成25年度第1回権利擁護セミナー	東広島市社会福祉協議会	岡本
6	9/13	ケアマネマイスター流ケアプラン作成	東広島市介護支援専門員連絡協議会	市川、石井 岡本
7	10/9	認知症ケアのためのコミュニケーション	東広島市高齢者支援課、東広島市地域包括支援センター	石井
8	10/23	みまもり家族制度	公益財団法人日本ライフ協会	岡本
9	11/13	介護の個人情報保護とコンプライアンス	ラ・ポール福祉用具貸与事業所	岡本
10	11/19	在宅介護を支える他職種交流会～胃ろう編～	社団法人 東広島地区医師会 （地域連携室あざれあ）	石井
11	1/23	在宅ケアのターミナルケアについて	公益財団法人 フランスベッドホームケア研究助成財団	石井、岡本
12	3/17	居宅介護支援事業者研修会	東広島市介護保険課	石井

(4) 社外活動

- 東広島市介護支援専門員連絡協議会の運営委員会に参加し、介護支援専門員と行政とのよりよい協働を目指して、介護支援専門員へのアンケート調査票づくりに取り組みました。調査票は完成しましたが、調査は平成26年度以降の持ちこしとなりました。平成26年度は運営委員会に直接参加はせず、他の運営委員の後方支援を行います

（市川）

(5) 課題と方針

- これまではケアマネジャーを2名（常勤1名・非常勤1名）配置することで、陽だまりクラブのコーディネーター業務と兼務してきました。しかし、陽だまりクラブへの依頼が増加し兼務が難しくなったため、平成26年度はケアマネジャーを常勤1名体制にし、ケアマネジメント業務を専任で行います。
- 平成24年度から管理者とケアマネジャーによる会議を毎月開催し、利用者の情報を共有すると共に困難事例についてはケアカンファレンスを行ってきました。平成26年度も引き続き開催し、ケアマネジメントの資質向上に努めます。

2-6. 広報活動

(1) 陽だまり通信

- 35号(4月)、36号(7月)、37号(11月)、38号(3月)を発行しました。

(2) ホームページ

- 見やすく分かり易いサイト、情報更新しやすい環境を目指して、(社団)広島県就労振興センターと契約し10月からホームページのリニューアルに取り組んでいます。平成26年5月から新しいホームページが公開となります。

(3) ロゴマーク

- 7月にロゴマークを作成し、名刺や看板に使用しました。

(4) メディアへの出演・記事掲載

次の通り、テレビ、ラジオ、新聞の各メディアに取り上げられました。

	開催日	メディア	内容	備考
1	6/13	F M東広島 社協発!「笑顔」	放課後こどもくらぶについて	生出演
2	8/23	N H K地方ニュース	夏休み子どもの居場所づくり 「楽器づくり・ジャグリング」	学生 企画
3	7/4号	広島経済レポート 『こぼれ話』	起業家と投資家らをつなぐ第21回 「お見合い交流会」	記事
4	10/11	広島テレビ 「テレビ派」	介護の現場に「陽だまり」の温もり	特集
5	2/11	広島ホームテレビ 「Jステーション」	急速に進む高齢化～地域を支える 力はプラチナ世代～	特集
6	3/27	N H K地方ニュース	春休み子どもの居場所づくり 「フラッグピンと万華鏡をつくろ う」	学生 企画

(5) 課題と方針

- 平成26年度は、陽だまり通信を年3回発行します。
- ホームページについては、引き続き(社団)広島県就労振興センターと保守契約を結び、タイムリーで分かり易い情報提供を行います。
- 当法人全体を紹介するパンフレットを新たに作成します。

2-7. その他の活動

(1) マネジメント力の強化

(1) -1 研修報告

事務局のマネジメント力向上を目的に研修に参加しました。

	開催日	テーマ	主催	参加者
1	6/19	NPO/NGO組織強化のためのワークショップ in 広島	ひろしまNPOセンター	石井、山本(陽) 佐々木
2	7/1	NPO活動推進自治体フォーラム 三重大会「地域に新しい公共を築くために」	三重県、NPO活動推進自治体ネットワーク	石井、山本(陽)
3	9/7	全国NGOネットワーク会合 in 広島	JICA中国、中国NGOネットワーク、広島NGOネットワーク	市川、石井
4	10/9	チャレンジフォーラム ～県内自治体の創意工夫した取組発表～	広島県	岡本、山本(陽)
5	10/11 10/25 11/8 11/22	活動計算書を作ろう	ひろしまNPOセンター	佐々木(全回) 市川 (10/11, 10/25)
6	2/19～ 2/20	住民参加型在宅福祉サービス全国研究セミナー「地域でつながろう！利用者のための連携・協働を一步進めるために」	全国社会福祉協議会	市川、石井
7	2/23	ソーシャルビジネスセミナー「仕組みと支援を使えるNPOになる」	ひろしまNPOセンター	佐々木

(2) -2 発表・展示

陽だまりの理念・活動内容・目標を紹介し、NPO法人への支援や参加を広く呼び掛けるために、次のイベントにおいて発表や展示を行いました。

	開催日	テーマ	主催	参加者
1	6/15	第21回起業家・投資家・専門家「お見合い交流会」	NPO法人広島経済活性化推進倶楽部	市川、石井 山本(陽) 佐々木

2	9/17	たちまち全員集合！～NPOと企業と大学生で創るこれからの共に助け合う社会～	広島県、NPO法人ひろしまNPOセンター	市川、石井 佐々木
3	11/24	プラチナ世代 55 (ゴ・ゴ-) フェア 2013	広島県プラチナ世代支援協議会	市川、石井 山本(陽)

(2) まちづくり・協働・ネットワークへの取り組み

(2) -1 イベントへの参加

市民の意見を行政に伝えること、他団体とネットワークをつくることを目的に、次のとおりイベントに参加しました。

	開催日	テーマ	主催	参加者
1	8/10	市民協働のまちづくりカフェ	東広島市企画振興課	石井、山本(陽) 佐々木
2	10/15、 10/22	東広島市地域福祉計画（改訂版）のための地域ワークショップ	東広島市社会福祉課	石井、岡本
3	12/7	2013 東広島学生ボランティア研修・交流会	東広島市社会福祉協議会	市川 山本(陽)

(2) -2 パブリックコメント

「東広島市地域福祉計画（第2次）案」について、東広島市社会福祉課へパブリックコメントを提出しました。

(3) お茶会の開催

日ごろ家から出にくい陽だまり会員や利用者の方を対象に開催しました。

	開催日	内容	参加者数	ボランティア
1	7/12	オカリナ演奏、健康体操、ハンドマッサージ	10人	・事務局ボランティア4人 ・オカリナ「あおい風」3人
2	10/10	童謡を歌おう、銭太鼓、健康体操、ハンドマッサージ	15人	・事務局ボランティア4人 ・銭太鼓2人
3	2/12	健康体操（F.F.Cスポーツクラブ）、童謡を歌おう	10人	・事務局ボランティア6人

- 参加費 100円～300円で、希望者には無料送迎サービスを行いました。
- 介護保険の認定を受けていない方、デイサービスには行きたくない方などの居場所として、関係機関からも評価をいただきました。

(4) 助成および寄付

次のとおりご支援をいただきました。

	募集内容	助成団体等	助成内容
1	中国ろうきん NPO 寄付システム	ひろしまNPOセンター	100,000 円
2	広島県子ども夢基金活動助成事業	(財)ひろしま子ども夢財団	78,000 円
3	ひろしまイーパーツ リユースPC 寄贈プログラム	認定NPO法人イーパーツ	リユース・ノートパソコン2台
4	プラチナ世代社会参画誘導プログラム 支援事業	広島県プラチナ世代支援協議会	200,000 円

(5) 課題と方針

- 事務局のマネジメント力を向上させるため、中心メンバーが等しくレベルアップできるように研修等で研鑽を積みます。
- 引き続き行政との関係づくりや他のNPO法人との協働に取り組んでいきます。
- お茶会は、陽だまりにご縁のある方たちの貴重な外出の機会として継続していきます。平成26年度は3回開催します
- 非営利事業の継続のために、助成事業には積極的に応募していきます。
- 平成26年4月から、放課後子どもクラブのスペースを空き時間に貸し出します。子育てサークルや趣味活動の集まり、会議やセミナーの開催など、地域交流の場となることを目指します。